

経営比較分析表

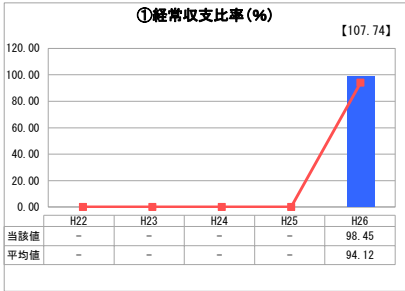
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	45.47	11.60	103.43	2,068

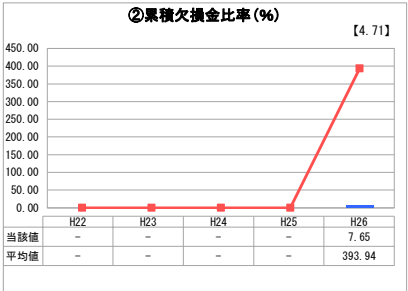
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,507	29.18	1,079.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,649	1.21	3,015.70

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

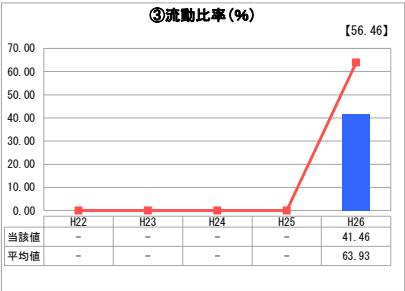
1. 経営の健全性・効率性



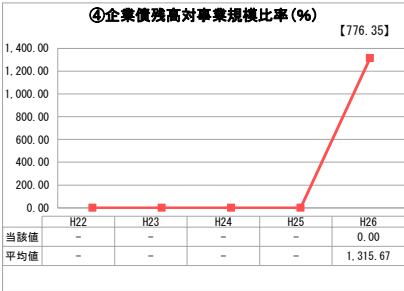
「経常損益」



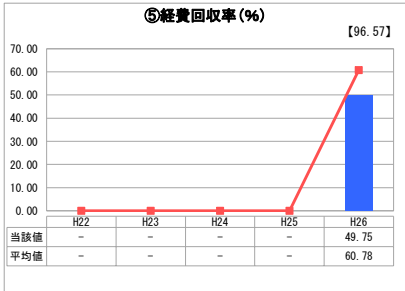
「累積欠損」



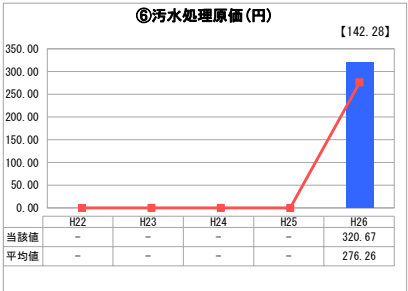
「支払能力」



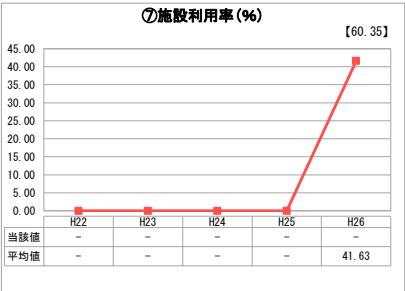
「債務残高」



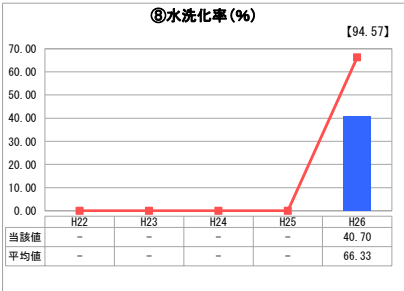
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

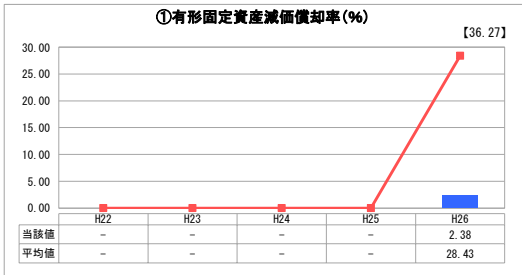


「施設の効率性」

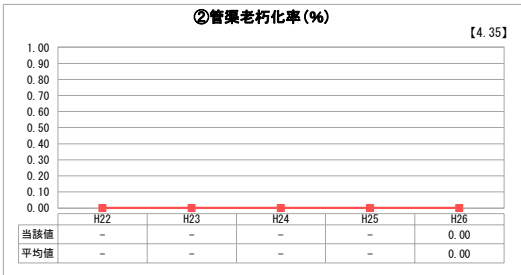


「使用料対象の捕捉」

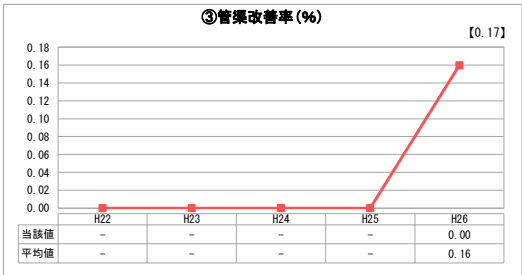
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

上里町公共下水道は平成26年度より地方公営企業法の全部適用を受け企業会計を始めました。企業会計としては最初の決算でありますので、過年度との比較はありません。

当該年度の経常収益で、経営の健全性に関して維持管理費や支払利息等の経常費用をどの程度賄えているのか、類似団体と比較しますと、経常収支比率で類似団体に比較し4.33ポイント上回っておりますが、最終赤字となっております。

営業収益に対します累積欠損金の比率は、類似団体と比較しますと低い割合を示しております。

短期的な債務に対する支払能力を表す指標である流動比率は類似団体に比較し22.47ポイント下回っており、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための改善を図っていく必要があります。

経費回収率は類似団体に比較し 11.03ポイント下回っている状況であります。水洗化率は 40.70ポイントであり、今後は経営改善のために、接続率向上の啓発活動等をより積極的に行い、公共下水道の利用に関し、住民の皆様に一層の御理解を頂き、黒字化へ向け経営改善を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

上里町公共下水道は平成7年度より工事を実施し、平成22年度に供用を開始いたしました。このため管渠の老朽化への改善の必要性は現時点ではありません。

全体総括

平成26年度決算が企業会計後最初の決算でありましたが、最終赤字となってしまいました。経営改善のためには、今後も引き続き水洗化人口の増加により「経営の効率性」の向上を目指すとともに、将来世代の地方債償還の増加を考慮に入れながら、計画的に管渠整備拡大を行っていく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。